

社会福祉法人 中央共同募金会

平成25年度

# 年次報告書

じぶんの町を良くするしくみ。

2013-14

## ANNUAL REPORT

Central Community Chest of Japan



赤い羽根の中央共同募金会

3 赤い羽根共同募金とは  
中央共同募金会の目的と役割  
沿革

4 平成25年度 主要事業の実施状況

- イベント
- 全国共通助成テーマ
- 広報
- 研修・会議

6 赤い羽根の災害時支援

災害時支援のしくみ

- 災害ボランティア・NPO活動サポート募金
- 災害等準備金
- 災害義援金
- 赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト
- 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

8 企業・団体との連携

- 企業や団体で取り組んでいただけること
- 赤い羽根共同募金等への協力事例
- 災害ボランティア・NPO活動サポート募金、ボラサポ2への協力事例

11 共同募金運動について

- 共同募金運動の概要
- 全国の共同募金運動の取り組み
- 変わる、赤い羽根共同募金

15 地域の課題解決を目的とした共同募金へ

テーマ型募金の取り組み

ふるさとサポート募金の実施

18 データ編

- ・共同募金統計（募金編）
- ・都道府県別 共同募金実績額
- ・共同募金統計（助成編）
- ・地域課題解決のための活動への助成例

22 中央共同募金会 概要

23 都道府県共同募金会一覧表



社会福祉法人  
中央共同募金会会長

齋藤 十朗

平成25年度は、東日本大震災の被災者支援に継続的に取り組むとともに、「地域から孤立をなくそう」を全国共通助成テーマに掲げた初年度でありました。

本会では、東日本大震災の発災直後より、諸機関と連携し義援金の受付を行ってまいりましたが、平成26(2014)年3月をもって受付を終了し累計415億円もの

義援金を、各自治体を通じて被災された方々にお届けすることができました。「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)については、平成25(2013)年12月をもって募金受付を終え、新たに「ボラサポ2(被災地住民支え合いサポート募金)」として、ボラサポ終了後も引き続き被災地を支えるしくみを創設しました。ボラサポには累計44億円のご寄付を賜りまして、ここに、皆さまの善意が確実に被災地へと届けられていることをご報告するとともに、あらためて皆さまのご厚意に心より御礼申し上げます。

平成25年度の共同募金運動においては、山積する地域課題・社会課題の解決に向けて、地域住民やボランティアグループ、NPOなどの活動を促進し資金面から支えるために、新たな募金手法の開発やテーマ性を重視した募金活動に取り組んでまいりました。社会的孤立や孤独な状態にある人々が抱える複雑かつ深刻な課題への対応は、既存の制度や活動による取り組みだけでは十分ではありません。このため、各都道府県共同募金会において全国共通助成テーマによる運動を通じ、地域から孤立をなくす取り組みの掘り起しや、新たな見守り・支えあいのしくみづくりを応援しています。このほか、企業の社会貢献活動と連携した「企業向けプログラム」の開発にも着手し、新たな連携プログラムが生まれるなど具体的な成果をあげております。

平成25年度は、全国の共同募金会へのご寄付としておよそ190億円を賜りました。ご支援いただいた市民や企業の皆さまをはじめ、全国各地で共同募金活動にご参加いただいている募金ボランティアの皆さまに心より感謝申し上げます。「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金は、市民共有の社会的財産として地域福祉推進のために、より一層役割を果たしてまいりたいと存じます。

赤い羽根共同募金は、「社会福祉法」に基づいた募金です



赤い羽根共同募金は、昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動としてスタート。当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に資金支援の機能を果たしてきました。その後、「社会福祉法」に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

67年を経て社会が変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援するしくみとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。災害時には、被災地を支援するしくみもついています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの活動を応援する「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

中央共同募金会の目的と役割

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会相互の連絡および事業の調整を行うことを目的とした連合会で、赤い羽根をシンボル\*とする共同募金運動の全国的な企画、広報、調査研究等を行っています。

また、2つ以上の都道府県や全国的な視野で実施する募金や寄付金の受け入れ・調整、民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

中央共同募金会では、上記事業運営のための寄付金を随時募集しております。また、遺贈による寄付金も受け付けております。

共同募金会へのご寄付は、税制優遇の対象となります。

沿革

大正10(1921)年  
・日本の1都市で初めて共同募金運動が実施されたが、1年限りで終了

昭和22(1947)年  
・第2次大戦直後の窮迫した民間社会事業の財源確保のため、占領軍の指導により、中央・都道府県共同募金会が組織される  
・第1回共同募金運動が全国的に実施される

昭和23(1948)年  
・シンボルの赤い羽根が採用される\*

昭和26(1951)年  
・社会福祉事業法が制定され「共同募金」は法律に基づき実施することになる

昭和34(1959)年  
・共同募金運動が、10月の1か月間から12月までの3か月間に延長される  
・「歳末たすけあい募金」も「共同募金」として実施する運動となる

昭和37(1962)年  
・全日空協力による第1回「赤い羽根・空の第一便」を実施

昭和57(1983)年  
・シール式の赤い羽根を採用

平成8(1996)年  
・50周年共同募金運動を実施  
・「21世紀を迎える共同募金のあり方委員会」から「新しい『寄付の文化』の創造をめざして」が答申される

平成12(2000)年  
・社会福祉法が施行され、共同募金の目的が新たに「地域福祉の推進」と位置づけられる

平成18(2006)年  
・共同募金運動60回目の運動を実施

平成19(2007)年  
・中央共同募金会企画・推進委員会から「地域をつくる市民を応援する共同募金への転換」が答申される

平成21(2009)年  
・インターネットを活用し、直接ふるさと共同募金に寄付できる「ふるさとサポート募金」を実施

平成23(2011)年  
・東日本大震災の支援金「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」を創設  
・災害等準備金(赤い羽根共同募金の一部)により、被災地の災害ボランティアセンター等を支援  
・全国からの義援金を受け付け

平成25(2013)年  
・全国共通助成テーマ「地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」の推進(5年間を予定)

\*赤い羽根は、かつて欧米で勇気や善行の象徴でした。米国の共同募金会がシンボルとして使用したことにヒントを得て、日本でも使うことになりました。

イベント

平成25年度 街頭募金中央行事

10月1日、赤い羽根共同募金運動のキックオフイベントとして、「街頭募金中央行事」を東京都千代田区の霞テラスで開催しました。イベントには、田村憲久厚生労働大臣、NHK大河ドラマ「八重の桜」出演俳優の谷村美月さんと尾花貴絵さん、大相撲の豪栄道関と松鳳山関、共同募金の助成を受けたNPO法人多摩草むらの会・夢うさぎの皆さんをゲストに迎え、運動開始のセレモニーと街頭募金活動を行いました。



ご協力いただいたゲストの皆さん



募金活動を行う豪栄道関と谷村美月さん

全国共通助成テーマ

「地域から孤立をなくそう  
～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」の展開

平成25年度から開始した全国共通助成テーマは、生活困窮者に対する対策等の検討の動きに合わせて、全国で取り組むものとして掲げたもので、全国21の都道府県共同募金会がテーマに沿った助成を実施した他、テーマ推進のための社会福祉協議会や関係機関との連携が進められています。(平成29年度まで継続予定)

「赤い羽根空の第一便中央伝達式」

10月1日から全国一斉に展開される共同募金運動に先立って、9月28日に、厚生労働大臣室において、ANAグループ各社の協力を得て「第52回赤い羽根空の第一便中央伝達式」を実施しました。田村憲久厚生労働大臣及び本会斎藤十朗会長から、ANAグループ客室乗務員に伝達されたメッセージと赤い羽根は、客室乗務員により10月1日の一番機で全国に運ばれ、各地の共同募金運動で活用されました。



ANAグループ客室乗務員にも赤い羽根を

広報

情報誌「赤い羽根」の発行並びにウェブサイトの運営

共同募金に関する情報や地域の取り組みなどを、全国各地の共同募金会関係者に伝えるため、情報誌「赤い羽根」を年3回各6,500部発行しました。

また、共同募金運動の広報・啓発を目的としたウェブサイト、市民に対して各地域の共同募金の使いみちをお知らせするための情報サイト、共同募金運動関係者向けのコミュニティサイト等を運営し、各種の情報提供・共有を実施しました。



広報

「あかいはね女子」動画&ポスター

平成25年度から、「人」と「活動」に焦点をあて、共同募金の助成により活動するボランティアや募金運動に協力するボランティアの方々等を、ドキュメンタリー風に撮影する「あかいはね女子」の動画作成に取り組みました。この動画は、子どもを対象にした事業、障がいのある方を対象にした事業、高齢者を対象とした事業等様々な活動を紹介したもので6本作成しました。YouTube「あかいはね女子」専用チャンネルで全ての動画を見ることができます。

また、この動画と連動したかたちで「人」と「活動」に焦点を当てたポスターを制作しました。



\*YouTube「あかいはね女子」専用チャンネルアドレス(短縮URL)  
<http://goo.gl/0UfwrZ>

赤い羽根データベース  
「はねっと」のリニューアル

募金使途の透明性の向上、広報と寄付へつながる一般公開の充実を図るために、助成内容の分類項目を見直しました。また、助成先の団体の活動がイメージしやすいように写真を多く掲載するとともに、用語もわかりやすいものに変更しています。  
<http://hanett.akaihane.or.jp>



その他

東日本大震災 震災遺児支援事業の実施

財団法人高速道路交流推進財団から事業を引き継ぎ、東日本大震災の震災遺児で、小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学などに在学中の方を対象として、返済の必要のない「震災遺児修学資金」の給付を行っています。  
平成25年度実績 修学資金給付 1,381人  
卒業時祝金 135人

研修・会議

第4回赤い羽根全国ミーティングin東京の開催

8月29～30日、全国の共同募金会関係者、社会福祉協議会関係者が一堂に会して、日頃の取り組みや情報を共有し共同募金の役割や可能性について話し合

いました。全国共通助成テーマに関する分科会や広報等に関する取り組み等分科会においても積極的な議論がされました。  
会場：戸山サンライズ(東京都新宿区)  
参加者：約220人



comment

街頭募金に参加した  
谷村 美月さん  
俳優

普段のお芝居の仕事とは違い、一人の人間としてこの場に立てることを誇りに思います。  
共同募金をはじめ、「ふるサポ」や「ボラサポ」などいろいろな募金の方法がありますので、ご協力お願いします。



comment

平成25度のポスターになった  
「石神井のあかいはね女子」

「あかいはね女子」動画をきっかけに、いろんな人に活動を知ってもらえて嬉しかったです。「石神井冒険遊びの会」にスポットの当たる機会が少ないので、そういう意味でも感謝しています。

「石神井のあかいはね女子」→  
動画を見る



# 赤い羽根の災害時支援

## 災害時支援のしくみ



### 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金 (ボラサポ)

#### 被災地で頑張るボランティアやNPOを支えます

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)は、東日本大震災の被災地でボランティアやNPO活動を支援する“支える人を支える募金”(支援金)です。これまでがれき撤去や仮設住宅での見守り活動等、被災した方々を支える活動を助成してきました。

財務省の告示により平成25(2013)年12月で「ボラサポ」への寄付受付を終了しましたが、復興に向かうこれからの時期だからこそ、求められる支援があります。平成26年度も助成は継続します。

ボラサポが終了した後も続く課題に立ち向かう団体を支援するため、平成26(2014)年1月からは被災3県の活動を支援することを目的とした「ボラサポ2(被災地住民支え合いサポート募金)」の寄付受付を開始しました。

ボラサポへの寄付総額 44億967万9,686円 (平成26年3月末現在)

### 1. ボラサポの支援状況

・ボラサポ助成団体数	のべ 2,529件 (第1～第12次累計)
・ボラサポ助成総額	28億8,316万円 (第1～第12次累計)
・がれき撤去や炊き出しなど震災直後の緊急救援活動に	総額5億円
・仮設住宅での見守り活動や子どもたちへの学習支援などの生活支援活動に	総額9億円
・まちづくりやコミュニティ再生につながる復興支援活動に	総額13億円
・ボラサポの助成を受けて活動した人数(概数)	526万人
<small>(参考: 阪神淡路大震災ボランティア約216万人「兵庫県ホームページ「阪神・淡路大震災一般ボランティア活動者数推計」」参照)</small>	
・被災地の地元住民による助け合い活動などの住民支え合い活動に	総額3億1,808万円

### 2. ボラサポの助成を受けてできたこと | NPO法人アットマーククリアスNPOサポートセンター(岩手県釜石市)

釜石では東日本大震災により多くの建物が被災し流出しました。被災した人々が憩い安らぎを感じられることを願い、《みんなの家 かねだて》を平成24(2012)年6月に釜石東部市街地に設置し運営しています。ここでは一人ひとりがまちの復興を考え行動を起こすきっかけ

づくりや知識・ノウハウ習得の支援を行っています。復興まちづくりのため頑張る大人と若者が交流し、被災した住民自らが明日の希望を語り合い、地域再生へ向けた人々の活力を集結するための貴重な場となっています。

### 3. スペシャルサポーター

ボラサポの趣旨に賛同し応援して下さる8名のスペシャルサポーターです。



スペシャルサポーターの皆さんからのメッセージをホームページに掲載しています。 <http://www.akaihane.or.jp/er/p10.html>



### 災害等準備金 (赤い羽根共同募金の一部)

#### 被災地の災害ボランティアセンターを支えます

災害時に被災地を支援するために、赤い羽根共同募金の3%を災害等準備金として積み立てています。この資金をもとに豪雨災害や竜巻災害発生時に、被災地の災害ボランティアセンターの設置や運営等の支援を行いました。



東京都大島町での活動の様子

助成総数40件	都道府県名	助成件数(件)	助成金額(円)	都道府県名	助成件数(件)	助成金額(円)
助成総額	山形県	2	2,910,000	滋賀県	6	10,309,799
5,062万6,511円	山口県	5	12,059,780	鹿児島県	1	824,688
	島根県	4	4,897,399	千葉県	1	413,000
	岩手県	10	9,360,104	東京都	1	3,000,000
	秋田県	2	1,113,973	長野県	1	22,293
	埼玉県	3	2,445,300	群馬県	2	370,175
	京都府	2	2,900,000			



### 災害義援金

#### 被災された方を支えます

中央共同募金会は平成26(2014)年3月末まで、東日本大震災で被災された方々のための災害義援金を都道府県共同募金会とともに受け付けてまいりました。この間に国内外からお寄せいただいた寄付額は415億6,879万5,650円となりました。ご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

#### 平成25年度実績

東日本大震災以外の11災害に対しても合計1億4,714万8,278円の義援金をお預かりし、被災自治体を通じて被災された皆さまへのお見舞金としてお配りしました。  
各災害への義援金寄付額は [こちらから](http://www.akaihane.or.jp/topics/detail/id/298/) → <http://www.akaihane.or.jp/topics/detail/id/298/>



### 赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト

#### 東日本大震災で被災した東北の子どもたちを支援

被災地で地域に根ざして活動する団体を支えることで、夢と志を持った子どもたちの育成を目指すプロジェクトです。第1回目は福島県南相馬市で発達障がいなどの困難を抱える子どもたちへの支援を行う「NPO法人トイボックス」への助成を決定しました。

なお、このプロジェクトは趣旨に賛同したソフトバンクモバイル株式会社とソフトバンクBB株式会社が行う「チャリティホワイト」の寄付金により行っています。



### 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)

#### 企業・NPOとの連携による支援活動

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)は、企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等によるネットワーク組織です。事務局を中央共同募金会が担っています。東日本大震災の他、豪雨・竜巻災害等の被災地へ人材派遣や資材提供などの運営支援を行いました。

## 企業・団体との連携

共同募金会では、募金活動も含めて企業・団体と連携したさまざまな取り組みを行っています。  
社会福祉法人中央共同募金会へのご寄付は、寄付金控除の対象となります。  
詳しくは、本会発行の税制パンフレットをご覧ください。

### 企業や団体で取り組んでいただけること

#### 企業のCSRに関わるプログラム

**利益の一部を寄付**  
企業の利益の一部や、特定商品の売上の一部を寄付したり、寄付金つき商品を開発して販売したりする方法。赤い羽根のブランドを付与することで、販売促進にもつながります。



**企業の本業を生かした寄付**  
クレジットカード会社が寄付金つき提携カードを発行したり、メーカーが自社製品を現物寄付したりする方法。企業の既存の資源を有効活用しながら社会貢献を行うことができます。

**企業理念に即した寄付**  
企業の理念に合った特定分野を指定して寄付する方法。例えば、子ども向け製品を作っている企業が、児童福祉や子育て支援などのテーマを指定して寄付いただくことができます。

**マッチングギフトによる寄付**  
社員から寄せられた寄付や、キャンペーンで寄せられた寄付に、企業として寄付を上乗せする方法です。社員や顧客との一体感を高める効果があります。

#### 寄付・募金活動プログラム

**募金箱を設置**  
店頭や受付に募金箱を設置し、顧客や出入業者の方々に広く寄付を呼びかける方法。身近な社会貢献の取り組みを、わかりやすくアピールいただくことができます。募金型自動販売機の設置もできます。

**職場での募金活動（職域募金）**  
社内に募金箱を設置したり、社員の給与の端数や一定額を天引きするなど、社員の皆さまに職場での協力をお願いする方法。社員の方々の帰属意識や社会貢献意識の向上に効果的です。

**イベント等での募金活動**  
社内外のイベントや展示会などをチャリティイベントとして実施し、参加者から参加費の一部などを寄付していただく方法。大震災以降、こうした取り組みへの関心が高まっています。

#### その他のプログラム

**人材の派遣**  
募金活動や共同募金イベントなどに、社員をボランティアとして派遣する方法。地域によっては、共同募金会の運営や助成の審査に関わる委員として参画いただくこともできます。

**媒体等の提供**  
掲示板、大型ビジョンなどの媒体を提供いただき、共同募金の広報に協力する方法。空いている媒体を有効活用しながら社会貢献を行うことができます。



### 赤い羽根共同募金等への協力事例

#### 専門性のある団体と連携して、オリジナルの支援プログラムを実施

マニユライフ生命保険株式会社では、平成18(2006)年以来、中央共同募金会を通じて、災害復興に関わるNPO支援、東日本大震災被災地への児童館建設、入院中の子どもの療養プログラム支援やプレイルーム（わくわくくるむ）の開設、子どもの経済教育プログラム支援、わくわくチャリティランの開催など、多くのオリジナルプログラムによる支援を、各々専門性を持つ諸団体と連携しながら実施しています。

マニユライフ生命保険株式会社



#### ふとんリサイクルの枚数に応じた寄付により、児童福祉施設を支援

株式会社丸八真綿販売では、平成23(2011)年から、「マルハチふとんリサイクル×赤い羽根共同募金」連携プログラムとして、営業活動を通じて丸八グループ袋井リサイクル工場に入荷したふとんの枚数に基づき、共同募金に寄付する活動を行っています。寄付金は、都道府県の各共同募金会を通じて、地域の児童福祉関連施設の活動助成金として役立てられています。

株式会社丸八真綿販売



#### 人気ゲームキャラクターによる、赤い羽根とのコラボレーション

共同募金初のゲームメーカーとの協働企画『『戦国BASARA 4』×『赤い羽根共同募金』コラボレーション』として、株式会社カプコンのご協力により、人気アクションゲームのキャラクターデザインを無償許諾いただき、デザインした啓発資材（ポスター、クリアファイル）を制作しました。コラボ資材は、全国34の都道府県共同募金会において活用され、特に若い世代に共同募金をご理解いただくきっかけとなりました。

株式会社カプコン



<赤い羽根共同募金等へのご支援ご協力 そのほかの企業・団休例> (50音順・敬称略)

アジレント・テクノロジー株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社アプアプ赤札堂、イオン株式会社、ヴイエムウェア株式会社、ANAグループ、エムケイ株式会社、株式会社オリエントコーポレーション、霞が関コンシェルジュ管理組合（新日鉄興和不動産株式会社）、関西遊技機商業協同組合、キーコーヒー株式会社、「クレンジングライフ」の箱募金（全国クリーニング生活衛生同業組合連合会、株式会社文化放送）、株式会社京王ストア、コカ・コーラ・ライストジャパン株式会社、有限会社saintarrow、株式会社セディナ、センティールワン株式会社、武田薬品工業株式会社、株式会社たまご、中外製薬株式会社、株式会社トゥ・ディファクト、有限責任監査法人トーマツ、東洋羽毛工業株式会社、日本航空株式会社 CLM、一般社団法人日本パブリックビューイング協会、株式会社ネットマイル、認定NPO法人ハートフル福祉募金、パラマウントベッド株式会社、Hitachi 3tours Championship 2013、マルハン従業員一同、三井住友カード株式会社、三井不動産株式会社、三井不動産ビルマネジメント株式会社、三菱電機株式会社、三菱電機SOCIO-ROOTS基金、三菱電機ビルテクノサービス株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行「ボランティア普通預金」、電鉄各社（京王電鉄株式会社、京成電鉄株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、東京モーター株式会社、東武鉄道株式会社）  
このほか多くの企業・団体の皆さまのご支援ご協力で感謝申し上げます。

### 災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）、ボラサポ2への協力事例

#### 社員からの寄付+会社のマッチングギフトで、継続的に支援

株式会社野村総合研究所（NRI）は、東日本大震災発災直後の平成23（2011）年3月15日に、社長直轄の「震災復興支援プロジェクト」を発足させ、多方面における支援に取り組んできました。  
ボラサポへは、NRIグループ社員の皆さまからの寄付にNRIからマッチングギフトを合わせる形で、平成23年度から継続してご寄付をいただいています。

株式会社野村総合研究所



#### 社員による募金活動「東北応援募金」で被災地を支援

NTTドコモグループでは、東日本大震災の被災地を継続的に支援していくために、平成24年度から社員に東北応援を呼び掛け、「東北応援募金」として募金活動を開始しています。  
「東北応援募金」では賛同した有志社員（現在、約11,000名）から毎月311円を集め、会社（NTTドコモおよびグループ各社）からの企業寄付（「東北応援募金」と同額相当）と併せて寄付を実施しています。  
平成25年度も、平成24年度に続きボラサポにご寄付をいただいています。

株式会社NTTドコモ



#### 東北の復興を応援するメッセージバリエード 売上の一部を寄付

福井県に本社のある株式会社八木熊は、現場や車両に優しいバリエード作りを目指してきました。平成24年より、「東北と一緒にがんばろう!」をイメージし復興を願い、幸せを希望するメッセージバリエード「頑張郎」を提案したところ、多くの方からご理解、ご支援いただきました。  
「頑張郎」の売上の一部を、継続してボラサポへご寄付いただいています。

株式会社八木熊



<ボラサポ、ボラサポ2へのご支援ご協力 そのほかの企業・団休例> (50音順・敬称略)

アジレント・テクノロジー株式会社、アビームコンサルティング株式会社、ANAグループ、株式会社a-Rise、LVMHウォッチ・ジュエリージャパン株式会社、大阪ガスグループ「小さな灯」運動、オールニッポンバレエガラコンサート実行委員会、グンゼ株式会社、株式会社サンケイ、住宅エコポイント、株式会社スミフル、ソフトバンクBB株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、一般財団法人通商産業福祉協会、株式会社日テレ アックスオン、日本航空株式会社 CLM、日本たばこ産業株式会社、株式会社阪急阪神ホテルズ、株式会社BAJ「THE YELLOW MONKEYチャリティオークション」、ピツニーボウズジャパン株式会社、三菱電機株式会社静岡製作所、三菱電機ライフサービス株式会社静岡支店、Yahoo!ネット募金、株式会社クニイテッドアローズ「united LOVE project 2013」、社会福祉法人読売光と愛の事業団、株式会社りそな銀行  
このほか多くの企業・団体の皆さまのご支援ご協力で感謝申し上げます。

## 共同募金運動について

### 共同募金運動の概要

募金 総額 平成25年度	共同募金総額	189億9,011万2,039円
	赤い羽根共同募金	137億8,389万9,488円
助成 総額 平成25年度	地域歳末たすけあい募金	45億8,545万6,730円
	NHK歳末たすけあい募金	6億2,075万5,821円
共同募金助成総額	共同募金助成総額	165億4,885万3,299円
	赤い羽根共同募金による助成	4万206件 117億1,954万6,008円
共同募金助成総額	地域歳末たすけあいによる助成	1万2,600件 42億2,256万7,777円
	NHK歳末たすけあいによる助成	3,352件 6億674万6,514円
注：赤い羽根など運動に要する経費は24億4,125万8,740円		

### 街頭募金の風景



長野県

## 全国の共同募金運動の取り組み ～助成先からのメッセージより～

### ひとり暮らし 高齢者との交流事業



ひとり住まいの方々が一堂に集ってゲームをしたり食事をしながら、楽しい時間を過ごし、地域住民との交流を深めています。  
(鳥根県/東あたご会)

### 屋外型 子育て支援施設の 環境整備事業



自然いっぱいの里山環境の中でプレーパーク活動を行っています。パーク内の休憩場所にエアコンを設置して、乳幼児のおむつ替え等に使用しています。  
(岡山県/備前プレーパークの会)

### いのちの電話相談・ 研修事業



年間12,000件にのぼる相談を約200名のボランティアが24時間体制で対応しています。孤独の中にある方々に、対話を通じて援助しています。  
(香川県/香川のいのちの電話協会)

### フロアホッケー 普及のための 用具購入事業



スポーツを通じて知的障がい者の心身の健康増進に努めています。用具を購入して、初めてフロアホッケーを楽しむことができました。  
(鹿児島県/スペシャルオリンピックス日本・鹿児島)

### あいさつから始まる つながりづくり



ボランティアが、孤立しがちな方や孤立する恐れのある方を訪問します。声を掛けることで社会的つながりの再構築を目指して活動しています。  
(岐阜県/羽鳥市社会福祉協議会)

### 福祉協力校事業



児童を対象に車いす体験学習を行い、車いすで移動する時の不便さや操作方法について学習しました。子どもたちが車いすでの生活の苦労を考える機会となりました。  
(京都府/京都市市立培良中学校)

### 福祉車両整備事業



利用者の高齢化・重度化が進む中で、車いすに座ったまま利用できる福祉車両を整備していただきました。安全で快適な移動手段が確保でき大変助かっています。  
(福岡県/緑ヶ丘学園)

### いきいきサロン・ 生活支援事業



高齢者向けのいきいきサロンを実施しています。会食やレクリエーションなどの交流を楽しみながら、地域のつながりをつくり、楽しい時間を過ごしています。  
(三重県/玉城町社会福祉協議会)

### いのちのバトン 普及事業

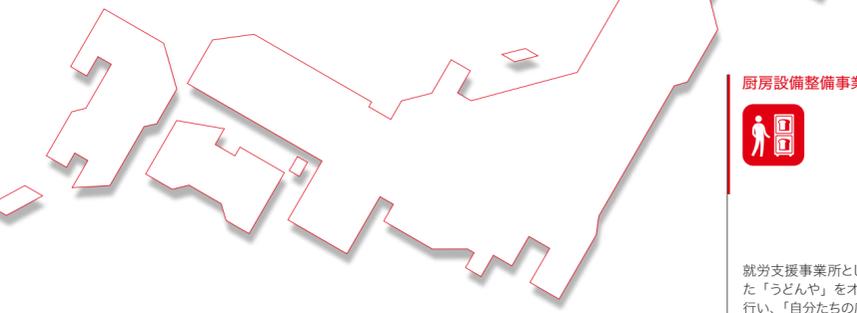


救急医療情報等を「いのちのバトン」に入れて、冷蔵庫に保管し、救命救急の対応を円滑に行えるように実施しています。日頃からの地域での見守りを通し、住民と関係機関が情報共有することにもつながっています。  
(富山県/射水市社会福祉協議会)

### 心身に障がいがある 子どものための 乗馬教室事業



子どもたちが、馬と触れ合うことで、豊かな感性を育てています。これまでに延べ800人の子どもたちが馬への騎乗やにんじんやりを体験しました。  
(福井県/チャレンジ乗馬サークル「ドルチェ」)



### 手洗い器等 設備工事事業



手洗い器や砂場の日よけを設置しました。子どもたちの衛生や遊びが守られています。  
(愛知県/ナースリーハウス)

### 太鼓の整備



知的障がい児者を守り、より豊かな福祉社会の実現を目標に活動しています。共同募金の助成金で太鼓を購入し、会員の活動を充実させることができました。  
(新潟県/南魚沼市手をつなぐ育成会)

### 高齢者 配食サービス事業



ボランティアが作りたてのお弁当を高齢者宅に届け、声掛けをしながら安否確認を行っています。高齢者に合った弁当を用意するので、皆さん楽しみにしています。  
(北海道/和寒町社会福祉協議会)

### 乳児調乳・沐浴室 工事事業



赤い羽根の助成金で、乳児調乳および沐浴室を実施しました。子どもたちが安全で衛生的に生活できる環境を整えられ、保護者・職員ともに大変喜んでます。  
(福島県/若松第三保育園)

### 子育てサロン事業



未就園児とその保護者を対象に、親子ほっとサロンを開催しています。季節行事や紙芝居などの活動を通して、子育ての悩みや不安を解消し、リフレッシュできる機会になっています。  
(埼玉県/北本市社会福祉協議会)

### 伊豆大島土砂災害の 被災者救援



台風26号による土砂災害によって、大島町には想定外かつ甚大な被害が生じました。発災から2日後に災害ボランティアセンターを立ち上げましたが、大きな混乱なく運営することができました。  
(東京都/大島社会福祉協議会)

### 除雪用具の購入事業 (除雪機・スコップ等)



高齢者や障がい者など除雪作業に苦労される方々のために、ボランティアが活動しています。雪深い地域だけに「手伝ってもらえると大変ありがたい」という声が届いています。  
(青森県/中泊町社会福祉協議会)

### ホームレスの 自立支援および 居宅後の アフターケア事業



市民ボランティアの皆さんと一緒ににぎりをつくり、路上生活者の方々のところへ出向いて活動を続けています。新しいシェルターを増設して、次のステップのための相談事業を充実させています。  
(千葉県/ホームレス自立支援市川ガンパの会)

### 街頭募金の風景



香川県

### 街頭募金の風景



千葉県

### 変わる、赤い羽根共同募金

昭和22(1947)年、戦後の厳しい生活の中で、お互いに助け合って生きていこうという強い連帯感から、赤い羽根共同募金は誕生しました。

それから60年以上が経過し、私たちを取り巻く社会状況は大きく変化し、共同募金は、新たな役割を期待されています。

共同募金会では新たに、今地域で課題となっていることを解決するためのテーマ型の募金運動に取り組んでいます。  
(詳細は15～17ページ) [▶](#)

ここでは、全国の取り組みの一部をご紹介します。その他の取り組みに関しては、赤い羽根データベース「はねっと」

<http://hanett.akaihane.or.jp> をご覧ください。

### 街頭募金の風景



富山県

# 地域の課題解決を目的とした共同募金へ

## テーマ型募金の取り組み

共同募金会では、地域の福祉課題解決を目的としたテーマ型の募金運動を、モデル的に共同募金運動期間を3カ月間拡大した平成26年1月から3月に取り組みました。

### 岩手県 被災地の地域福祉活動のために

「赤い羽根3.11いわて沿岸地域応援募金」

〔募金実績額 1,384万8,445円〕

東日本大震災以後、岩手県沿岸地域では、一部の地域で共同募金運動を実施できない状況が続いており、震災前と比較して、社会福祉協議会や地域のボランティア団体が行う地域福祉活動の財源が不足しています。共同募金の8割近くを占める戸別募金の再開が難しい地域もあるなかで、沿岸8市町村の地域福祉活動を支えるために、県内陸部を中心とした企業、団体等に被災地域の実状を知ってもらい、共感による寄付を呼びかける取り組みを行いました。

実施にあたっては、岩手県内の企業・報道関係者、NPO、大学、市町村共同募金委員会など幅広い分野から参画したプロジェクト会議を構成し、県内の関係機関が意識を一つにして募金活動を展開したところ、1,300万円を超える寄付が寄せられました。



ふれあいランド岩手でのスタートイベント

また、この募金活動を通じて、これまでの募金運動では取り組むことができなかった、ダイレクトメールによる募金や、新しい募金箱の開発、募金箱100カ所設置プロジェクト、企業関係者を対象としたドネーションパーティなど、新たな募金手法に多数取り組むことができました。

#### comment

モデル事業を実施した  
岩手県共同募金会  
星 拓史 さん

本県沿岸市町村の多くは、東日本大震災時の津波の影響により震災前の募金実績に回復するまでに相当の期間を要する状況にあります。このことは、「募金が回復しないことイコール地域福祉推進に支障が生じること」に繋がります。このような現実を何とかしなければならぬという思いからモデル事業に取り組みました。

結果、予想を上回る多くの支援の輪という財産を得ることができ、共同募金関係者の自信になりました。これからも市町村共同募金委員会とともに、一層の支援の輪の拡大を目指します。



助成事業のひとつ「つながる結っこのだらり」の一場面

### ふるサポの実施



共同募金会では、ホームページを通じた募金キャンペーンとして、市町村や使途を選んで寄付できる「ふるさとサポート募金」(ふるサポ)に取り組んでいます。平成25年

度は、それぞれの地域の課題を解決する活動を具体的に紹介するとともに、各地域で作成されている寄付グッズを紹介するなど、寄付いただく皆さんに分かりやすいサイトへ

ふるサポ・ホームページ

www.akaihane.or.jp/furusapo

ふるサポ公式Facebookページ

www.facebook.com/akaihane.furusapo

### 香川県 子どもたちのボランティア活動のために

「宇多津町内小中学校応援プロジェクト」

〔募金実績額 136万8,447円〕

宇多津町共同募金委員会では、町内の学校と協力した、子どもたちの応援をテーマとした募金活動を展開しました。

学校を中心とした理由には、宇多津町社会福祉協議会がこれまで小中学校での福祉教育やボランティア学習に積極的に取り組んできた背景があります。平成20(2008)年からは、子どもたちのボランティア活動をポイント化して貯金し、各学校で貯まったポイントを換金して、高齢者の見守り活動の応援や児童施設の遊具などの寄贈を行う、全国でも珍しい「ボランティア銀行」の取り組みを進めてきました。

モデル事業では、学校と協力して子どもたちのボランティア活動のための募金を広く町内に呼びかけました。特に、町内会組織がなく戸別募金を十分に実施できない新興住宅地では、子どもたちを応援する今回の募金テーマをきっかけとして、共同募金への理解を進め、地域と学校を結びつける活動を展開したいと考えています。

「子どもたちが地域のために活動し、その活動を



中学生が町を歩いて募金を呼びかけました

地域の人たちが応援する」というしきみを目指すことで、将来的に新興住宅地での新しいコミュニティづくりにつなげたい思いがあります。

全国的に、町内会の加入率とともに戸別募金が減少する中、地域に根ざしたテーマ募金を展開することで、地域活性化につながることを期待されます。



「うたづの町家とおひなさん」でのイベント募金

#### comment

モデル事業を実施した  
宇多津町内小中学校応援プロジェクト 委員長  
中野 盛太郎 さん

宇多津町の小中学生は「ボランティア銀行」を通じ、誰かのために何かをすることの喜びを学んできました。このプロジェクトはその気持ちを地域に繋げ、地域が子どもたちを見守り、育てるきっかけになればという思いで取り組みました。

集められた募金は、子どもたちの感謝の気持ちが一つずつ書かれたプラントナーなどに使われ、町中に「ありがとう」の花があふれます。それを見た大人たちが笑顔に。

子どもたちを応援するプロジェクトが町を笑顔にし、また子どもたちのやる気を生み出す。あたたかい気持ちの連鎖はもう始まっています。

のリニューアルを行いました。

インターネット募金として、全国どこからでも自分のふるさとを応援できる「ふるサポ」は、誰でも簡単に共同募金に参加できるツールとして今後の展開が期待されています



## ふるサポ

(ふるさとをサポートする募金)  
全国47都道府県、各市町村まで指定して  
サポートできる募金です。使う目的も選べます。

### 大分県 日出町の産後のママに笑顔を!

「産後のママをささえる募金」

〔募金実績額 44万6,067円〕

産後まもないママを取り巻く不安や負担をサポートするために、育児相談や家事援助、育児補助などを行う「産後サポーター」を養成・派遣するのが、平成25(2013)年に誕生した「ひじまち子育て応援団」です。

大分県共同募金会と日出町共同募金委員会では、「子育て応援団」の活動を応援する「産後のママを支える募金」を実施しました。産後の母親が抱える課題を人々に知ってもらいながら募金を呼びかけたところ、活動に必要な目標額に近い44万円の寄付が寄せられました。

募金の呼びかけを地域住民である子育て支援団体などが自ら行ったこと、また、募金のテーマとして、孤立してしまいがちな産後の母親が抱える生活課題を取り上げたことなどが、多くの共感を呼ん

だのでしょう。また、募金ツールとして、哺乳瓶を活用したオリジナル募金箱を工夫するなど、新たなテーマ募金を展開するためのさまざまな取り組みが行われました。



哺乳瓶を活用したオリジナル募金箱

#### comment

モデル事業を実施した  
日出町子育て応援団 団長  
山田 良子 さん

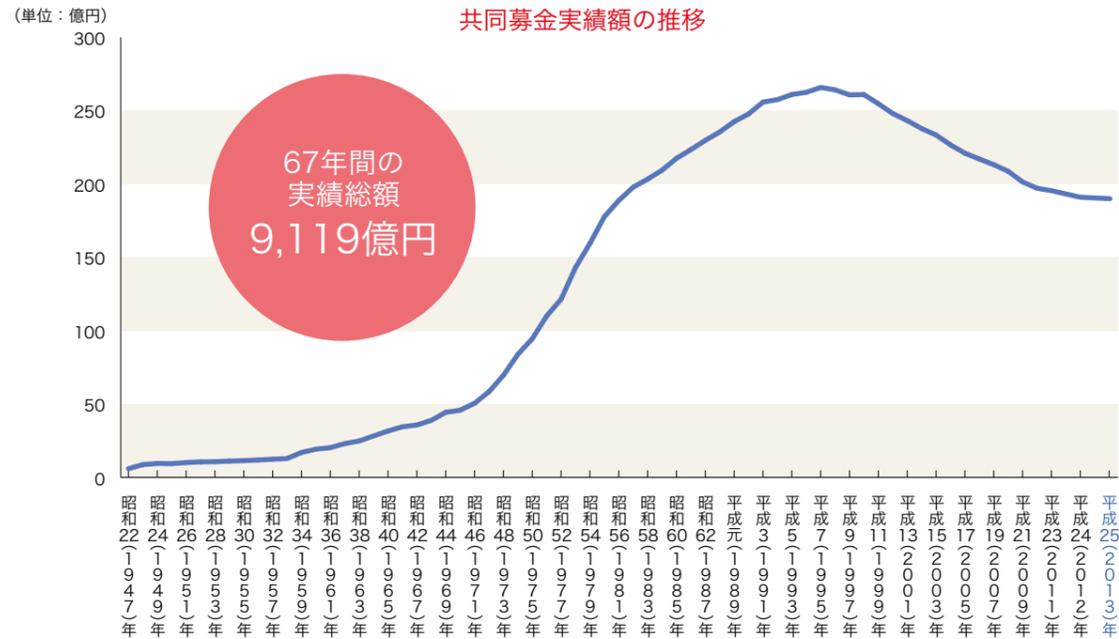


「子育て応援団」のみんなで募金箱づくりを行いました

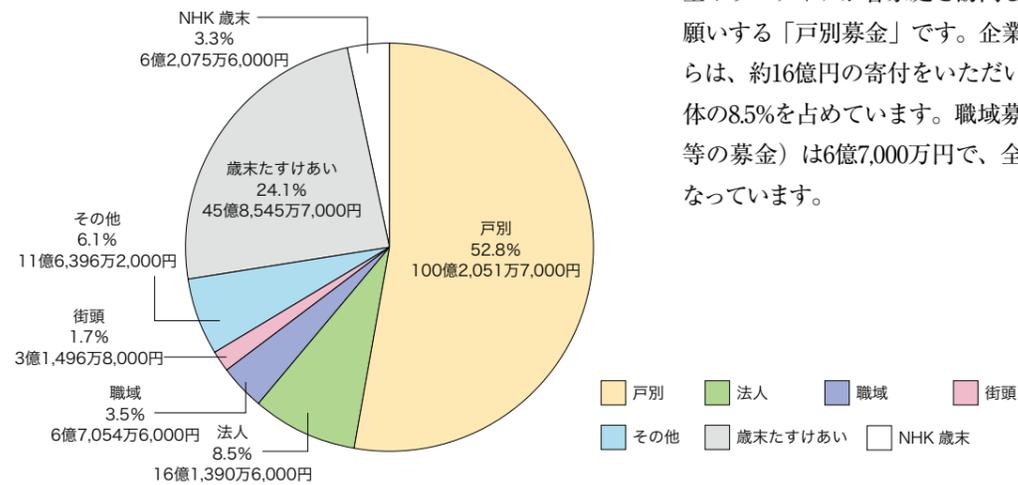
この他にも、全国の15地域で、モデル事業として地域の課題を解決するテーマ型の募金運動が展開され、全国合計で約9,500万円の寄付が寄せられました。

共同募金統計（募金編）

赤い羽根共同募金は、昭和22(1947)年に始まり、初年度は現在の貨幣価値にすると5,000億円を超えるともいわれる、6億円弱の寄付が寄せられました。以降、時代の要請に応じて募金が増加し、67年間の募金実績総額は9,119億円に及びます。平成25年度の実績額はおよそ190億円でした。



平成25年度 募金方法別割合



平成25年度 都道府県別 共同募金実績額

都道府県	募金総額 (単位:円)	募金方法別内訳		
		赤い羽根共同募金	歳末たすけあい	NHK歳末
北海道	837,744,887	601,848,500	218,516,797	17,379,590
青森	205,130,267	185,235,540	15,655,264	4,239,463
岩手	368,790,741	226,535,706	137,145,247	5,109,788
宮城	387,173,059	297,327,723	81,623,054	8,222,282
秋田	256,427,953	203,170,689	48,459,775	4,797,489
山形	243,631,985	164,845,884	74,707,478	4,078,623
福島	425,382,260	289,101,514	128,288,993	7,991,753
茨城	603,413,705	401,560,254	185,178,290	16,675,161
栃木	317,399,232	232,848,961	74,816,442	9,733,829
群馬	303,577,154	196,033,377	101,193,782	6,349,995
埼玉	955,990,857	595,716,321	344,419,848	15,854,688
千葉	727,405,626	467,880,899	234,848,243	24,676,484
東京	1,273,578,948	615,802,358	578,362,681	79,413,909
神奈川	1,167,734,994	732,835,687	394,207,650	40,691,657
新潟	502,001,441	381,176,709	113,378,731	7,446,001
富山	182,534,621	142,375,815	30,213,455	9,945,351
石川	219,553,254	112,184,248	98,680,049	8,688,957
福井	173,511,916	130,091,563	35,450,290	7,970,063
山梨	166,038,033	148,446,634	11,304,000	6,287,399
長野	441,599,832	428,246,992	0	13,352,840
岐阜	380,759,285	300,081,377	65,502,992	15,174,916
静岡	582,807,108	351,258,936	208,729,505	22,818,667
愛知	918,588,256	743,283,927	134,008,099	41,296,230
三重	312,289,729	268,175,277	29,916,669	14,197,783
滋賀	236,163,651	151,809,958	78,776,390	5,577,303
京都	346,209,688	248,851,344	88,905,569	8,452,775
大阪	753,539,409	535,705,613	157,294,128	60,539,668
兵庫	703,134,299	533,981,711	148,439,834	20,712,754
奈良	175,115,442	122,586,240	43,262,730	9,266,472
和歌山	134,710,569	108,541,628	22,556,580	3,612,361
鳥取	135,293,927	104,040,704	28,431,789	2,821,434
島根	214,937,536	181,339,732	29,974,363	3,623,441
岡山	359,951,037	288,913,995	64,945,218	6,091,824
広島	356,878,669	328,108,524	11,186,047	17,584,098
山口	375,768,596	278,481,868	90,074,310	7,212,418
徳島	140,421,432	112,814,064	22,088,949	5,518,419
香川	275,536,249	237,436,831	34,698,535	3,400,883
愛媛	320,112,903	264,891,048	45,680,884	9,540,971
高知	149,126,177	124,017,999	19,411,176	5,697,002
福岡	765,015,154	651,153,602	97,676,973	16,184,579
佐賀	150,607,156	122,227,426	21,844,325	6,535,405
長崎	220,400,677	170,809,552	40,610,966	8,980,159
熊本	295,705,997	288,050,306	2,701,764	4,953,927
大分	213,093,349	142,027,841	65,317,138	5,748,370
宮崎	174,727,087	142,841,167	25,291,058	6,594,862
鹿児島	286,162,922	240,879,792	41,292,960	3,990,170
沖縄	254,434,970	188,323,652	60,387,710	5,723,608
合計	18,990,112,039	13,783,899,488	4,585,456,730	620,755,821

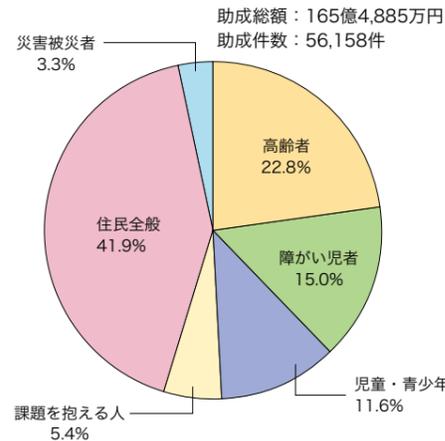
「赤い羽根共同募金」は、毎年10月から12月までの3カ月間、都道府県ごとに募金運動が展開され、災害時など例外を除き、集まった寄付金は各都道府県内で使いみちが決められます。共同募金は国内の社会福祉の基本法である社会福祉法に規定されていますが、その中で「地域福祉の推進を目的とする募金運動」として位置付けられています。

「歳末たすけあい」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の皆さまの参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。

「NHK歳末」は、共同募金の一環として、毎年12月にNHKとの共催で行われる助け合い運動です。昭和26(1951)年に、NHKがその公共性に基づき、放送を通して社会福祉に寄与しようという目的で始めた募金運動で、昭和29(1954)年から中央共同募金会との共催となりました。

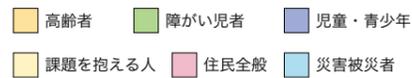
共同募金統計（助成編）

平成25年度 助成分野別内訳



平成25年度の募金に基づく助成は、全国で165億4,885万3,299円であり、このうち、高齢者関係の事業に22.8%、障がい児者関係の事業に15.0%、児童・青少年関係の事業に11.6%が助成されました。

また、低所得者・世帯、長期療養者、ホームレスなど、上記分類以外の地域で支援を必要としている人たちを対象とする事業には、5.4%が助成されました。国内の災害発生時に備えた「災害等準備金」は、およそ5億5,600万円が積み立てられています。



助成事業の対象者別内訳	件数 (件)	金額 (円)	割合 (%)
<b>高齢者</b>	<b>13,909</b>	<b>3,773,463,616</b>	<b>22.8</b>
高齢者全般	8,958	2,253,745,608	13.6
要介護高齢者	1,307	462,847,404	2.8
要支援高齢者	1,406	437,819,026	2.6
高齢者世帯	1,779	519,267,685	3.1
介護者・家族	459	99,783,893	0.6
<b>障がい児者</b>	<b>11,519</b>	<b>2,489,425,579</b>	<b>15.0</b>
障がい児者全般	4,665	1,343,930,249	8.1
知的障がい児者	2,598	512,063,871	3.1
身体障がい児者	2,261	316,716,386	1.9
精神障がい者	923	132,157,979	0.8
心身障がい児者	764	148,441,739	0.9
介助者・家族	308	36,115,355	0.2
<b>児童・青少年</b>	<b>10,989</b>	<b>1,924,483,077</b>	<b>11.6</b>
乳幼児	2,626	512,215,426	3.1
児童	4,833	776,149,486	4.7
青少年	1,367	169,286,721	1.0
一人親家族	1,265	224,559,329	1.4
養護児童	621	196,958,064	1.2
遺児・交通遺児	85	12,227,925	0.1
家族	192	33,086,126	0.2
<b>課題を抱える人</b>	<b>1,845</b>	<b>886,413,733</b>	<b>5.4</b>
低所得者・要保護世帯	858	667,752,795	4.0
長期療養者	219	45,386,642	0.3
ボランティア	50	23,410,000	0.1
在住外国人	31	4,797,067	0.0
更生保護関係者	408	46,424,473	0.3
ホームレス	65	9,910,190	0.1
犯罪被害者	7	5,173,429	0.0
不登校児	7	2,997,500	0.0
ひきこもりの人	19	5,412,740	0.0
DV被害者	26	14,652,172	0.1
その他	155	60,496,725	0.4
<b>住民全般</b>	<b>17,516</b>	<b>6,934,222,340</b>	<b>41.9</b>
<b>災害被災者</b>	<b>380</b>	<b>540,844,954</b>	<b>3.3</b>
<b>合計</b>	<b>56,158</b>	<b>16,548,853,299</b>	<b>100.0</b>

さまざまな地域課題、社会課題を解決するための活動への助成例（平成24年度募金に基づく実績より）

**ドメスティックバイオレンス防止・被害者支援**  
シェルター運営、自立支援活動など

▲ 支援先 47団体 | 対象者 14,942人

---

🔪 助成総額 **2,264**万円

**いじめ防止**  
いのちの電話運営、広報啓発活動など

▲ 支援先 141団体 | 対象者 456,478人

---

🔪 助成総額 **3,718**万円

**ホームレス支援**  
路上生活者への食事提供、低所得世帯への緊急対応など

▲ 支援先 982団体 | 対象者 228,829人

---

🔪 助成総額 **6億8,189**万円

**児童虐待防止**  
虐待防止セミナー、児童養護施設支援など

▲ 支援先 653団体 | 対象者 432,371人

---

🔪 助成総額 **2億993**万円

**自殺防止**  
いのちの電話運営、自死遺族の会開催など

▲ 支援先 67団体 | 対象者 220,114人

---

🔪 助成総額 **2,576**万円

**犯罪被害者支援**  
支援相談員養成、被害者向けリーフレット作成など

▲ 支援先 16団体 | 対象者 55,049人

---

🔪 助成総額 **965**万円

**災害避難者支援（東日本大震災）**  
避難者交流・ネットワーク事業、生活用品給付など

▲ 支援先 41団体 | 対象者 13,260人

---

🔪 助成総額 **1,482**万円

**不登校児童・生徒支援**  
フリースクール運営、親の会運営支援など

▲ 支援先 62団体 | 対象者 60,119人

---

🔪 助成総額 **833**万円

**うつ病患者支援**  
心の健康づくり講演会、サロン開催など

▲ 支援先 11団体 | 対象者 1,591人

---

🔪 助成総額 **218**万円

**アルコール依存症者支援**  
断酒会の活動、予防啓発の講演会など

▲ 支援先 21団体 | 対象者 11,577人

---

🔪 助成総額 **323**万円

**薬物依存症者支援**  
リハビリ施設運営、中高生の薬物乱用防止教育など

▲ 支援先 44団体 | 対象者 44,348人

---

🔪 助成総額 **1,847**万円

**在日外国人支援**  
日本語教室、多言語トラブル相談など

▲ 支援先 57団体 | 対象者 21,994人

---

🔪 助成総額 **1,161**万円

# 社会福祉法人 中央共同募金会 Central Community Chest of Japan

## 所在地

所在地／〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階  
 電話／03-3581-3846 FAX／03-3581-5755 メール／info@c.akaihane.or.jp ホームページ／www.akaihane.or.jp

**役員** ※平成26 (2014) 年5月27日現在

## 理事

会長	齋藤十朗	中央共同募金会会長	中井千尋	北海道共同募金会会長	大山義雄	大分県共同募金会副会長
副会長	高井康行	中央共同募金会副会長	齋藤清衛	栃木県共同募金会会長	高橋 博	宮崎県共同募金会副会長
副会長	井畑明男	青森県共同募金会会長	小淵吉信	群馬県共同募金会常務理事	堀江正俊	全国民生委員児童委員連合会会長
副会長	若佐博之	鳥根県共同募金会会長	小海博指	東京都共同募金会常務理事	大橋謙策	日本社会事業大学大学院特任教授
常務理事	中島謙次	中央共同募金会常務理事	西和喜雄	石川県共同募金会専務理事	沖藤典子	高齢社会をよくなる女性の会副理事長
			保田修司	愛知県共同募金会常務理事	佐藤正敏	損害保険ジャパン会長
			乾 繁夫	大阪府共同募金会会長	山田秀昭	全国社会福祉協議会常務理事
			卜部能尚	奈良県共同募金会会長	島村糸子	中央共同募金会事務局長
			八木社一郎	香川県共同募金会会長		

## 監事

古内保之 岩手県共同募金会専務理事 片山正晴 徳島県共同募金会副会長 森 仁美 同愛記念病院財団理事長

## 評議員

75名

## 平成25年度 財務諸表

一般会計 貸借対照表概要 (単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	平成25年度末	平成24年度末	増減	科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
流動資産	2,901,614,677	8,052,062,201	△ 5,150,447,524	流動負債	851,097,358	1,016,988,902	△ 165,891,544
基本財産(固定資産)	44,060,555	45,417,715	△ 1,357,160	固定負債	117,302,598	109,974,521	7,328,077
その他の固定資産	4,997,737,083	234,332,845	4,763,404,238	負債の部合計	968,399,956	1,126,963,423	△ 158,563,467
				純資産の部			
				基本金	17,764,459	17,764,459	0
				基金	85,297,583	85,588,944	△ 291,361
				その他の積立金	2,108,415,625	7,078,023,527	△ 4,969,607,902
				次期繰越活動収支差額	4,763,534,692	23,472,408	4,740,062,284
				純資産の部合計	6,975,012,359	7,204,849,338	△ 229,836,979
資産の部合計	7,943,412,315	8,331,812,761	△ 388,400,446	負債及び純資産の部合計	7,943,412,315	8,331,812,761	△ 388,400,446

一般会計 事業活動収支計算書概要 (単位：円)

科目		平成25年度決算額	平成24年度決算額	増減	
事業活動収支の部	収入	預り金収入	478,034,214	432,262,743	45,771,471
		共同募金以外寄付金収入	583,436,359	5,094,375,102	△ 4,510,938,743
		災害たすけあい義援金預り金収入	664,938,929	1,368,293,808	△ 703,354,879
		募金収入(ボラサボ、ボラサボ2)	378,319,153	593,255,652	△ 214,936,499
		分担金収入	116,416,628	114,394,538	2,022,090
		事業収入	164,154,554	167,980,176	△ 3,825,622
		雑収入	81,919,576	25,378,191	56,541,385
		引当金戻入	5,409,626	4,135,594	1,274,032
	事業活動収入計 (1)	2,472,629,039	7,800,075,804	△ 5,327,446,765	
	支出	人件費支出	121,973,292	128,832,176	△ 6,858,884
		事務費支出	29,789,250	37,845,294	△ 8,056,044
		事業費支出	403,692,814	402,462,053	1,230,761
		預り金送付金支出	463,065,723	417,409,365	45,656,358
		共同募金以外寄付金配分金支出	391,919,298	347,850,861	44,068,437
		配分金支出	613,766,342	1,174,695,190	△ 560,928,848
		災害たすけあい義援金送付金	664,946,966	1,368,321,284	△ 703,374,318
分担金支出		800,000	800,000	0	
減価償却費	2,333,603	2,326,303	7,300		
引当金繰入	12,800,459	13,011,146	△ 210,687		
事業活動支出計 (2)	2,705,087,747	3,893,553,672	△ 1,188,465,925		
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 232,458,708	3,906,522,132	△ 4,138,980,840		
収支の部	収入	受取利息配当金収入	1,475,133	1,896,686	△ 421,553
		会計単位間繰入金収入	1,444,554	4,744,994	△ 3,300,440
		経理区分間繰入金収入	274,054,605	292,865,000	△ 18,810,395
	支出	事業活動外収入計 (4)	276,974,292	299,506,680	△ 22,532,388
		経理区分間繰入金支出	274,054,605	292,865,000	△ 18,810,395
		事業活動外支出計 (5)	274,054,605	292,865,000	△ 18,810,395
事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)	2,919,687	6,641,680	△ 3,721,993		
經常収支差額 (7)=(3)+(6)	△ 229,539,021	3,913,163,812	△ 4,142,702,833		
特別収支の部	収入	特別収入計 (8)	0	0	0
		支出	固定資産売却損・処分損(売却原価)	297,958	0
	器具及び備品売却損・処分損(売却原価)		297,958	0	297,958
	特別支出計 (9)		297,958	0	297,958
特別収支差額 (10)=(8)-(9)	△ 297,958	0	△ 297,958		
当期活動収支差額 (11)=(7)+(10)	△ 229,836,979	3,913,163,812	△ 4,143,000,791		
収支差額の部	繰越活動	前期繰越活動収支差額 (12)	23,472,408	20,846,455	2,625,953
		当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	△ 206,364,571	3,934,010,267	△ 4,140,374,838
		基金取崩額 (14)	291,361	5,370,961	△ 5,079,600
		その他の積立金取崩額 (15)	5,652,280,909	1,554,515,537	4,097,765,372
		その他の積立金積立額 (16)	682,673,007	5,470,424,357	△ 4,787,751,350
		次期繰越活動収支差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	4,763,534,692	23,472,408	4,740,062,284

# 都道府県共同募金会一覧表

共同募金会名	所在地	電話
社会福祉法人 北海道共同募金会	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7-1 道立社会福祉総合センター	011-231-8000
社会福祉法人 青森県共同募金会	〒030-0822 青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ	017-722-2169
社会福祉法人 岩手県共同募金会	〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1-3 ふれあいランド岩手	019-637-8889
社会福祉法人 宮城県共同募金会	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28	022-292-5001
社会福祉法人 秋田県共同募金会	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 県社会福祉会館	018-864-2821
社会福祉法人 山形県共同募金会	〒990-0021 山形市小白川町2-3-31 県総合社会福祉センター	023-622-5482
社会福祉法人 福島県共同募金会	〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 県総合社会福祉センター	024-522-0822
社会福祉法人 茨城県共同募金会	〒310-0851 水戸市千波町1918 県総合福祉会館	029-241-1037
社会福祉法人 栃木県共同募金会	〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ	028-622-6694
社会福祉法人 群馬県共同募金会	〒371-0843 前橋市新前橋町13-12 県社会福祉総合センター	027-255-6596
社会福祉法人 埼玉県共同募金会	〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ	048-822-4045
社会福祉法人 千葉県共同募金会	〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター	043-245-1721
社会福祉法人 東京都共同募金会	〒169-0072 新宿区大久保3-10-1 東京都大久保分庁舎201	03-5292-3181
社会福祉法人 神奈川県共同募金会	〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 県社会福祉会館	045-312-6339
社会福祉法人 新潟県共同募金会	〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ	025-281-5532
社会福祉法人 富山県共同募金会	〒930-0094 富山市安住町5-21 県総合福祉会館	076-431-9800
社会福祉法人 石川県共同募金会	〒920-8557 金沢市本多町3-1-10 県社会福祉会館	076-208-5757
社会福祉法人 福井県共同募金会	〒910-0026 福井市光陽2-3-22 県社会福祉センター	0776-22-1657
社会福祉法人 山梨県共同募金会	〒400-0005 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ	055-254-8685
社会福祉法人 長野県共同募金会	〒380-0871 長野市西長野143-8 県自治会館	026-234-6813
社会福祉法人 岐阜県共同募金会	〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 県福祉・農業会館	058-273-1111
社会福祉法人 静岡県共同募金会	〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 県総合社会福祉会館	054-254-5212
社会福祉法人 愛知県共同募金会	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-7 県社会福祉会館	052-232-1455
社会福祉法人 三重県共同募金会	〒514-8552 津市桜橋2-131 県社会福祉会館	059-226-2605
社会福祉法人 滋賀県共同募金会	〒520-0044 大津市京町4-3-28 県厚生会館	077-522-4304
社会福祉法人 京都府共同募金会	〒604-0874 京都市中京区竹屋町通鳥丸東入る清水町375 府立総合社会福祉会館	075-256-9500
社会福祉法人 大阪府共同募金会	〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 社会福祉指導センター	06-6762-8717
社会福祉法人 兵庫県共同募金会	〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 県福祉センター	078-242-4624
社会福祉法人 奈良県共同募金会	〒634-0061 橿原市大久保町320-11 県社会福祉総合センター	0744-29-0173
社会福祉法人 和歌山県共同募金会	〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビック愛	073-435-5231
社会福祉法人 鳥取県共同募金会	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター	0857-59-6350
社会福祉法人 島根県共同募金会	〒690-0011 松江市東津田町1741-3 いきいきプラザ島根	0852-32-5977
社会福祉法人 岡山県共同募金会	〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館	086-223-0065
社会福祉法人 広島県共同募金会	〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2 県社会福祉会館	082-254-3282
社会福祉法人 山口県共同募金会	〒753-0072 山口市大手町9-6 県社会福祉会館	083-922-2803
社会福祉法人 徳島県共同募金会	〒770-0943 徳島市中昭和町1-2 県立総合福祉センター	088-652-0200
社会福祉法人 香川県共同募金会	〒760-0066 高松市福岡町2-25-12 県共同募金会館	087-823-2110
社会福祉法人 愛媛県共同募金会	〒790-8553 松山市持田町3-8-15 県総合社会福祉会館	089-921-4535
社会福祉法人 高知県共同募金会	〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ	088-844-3525
社会福祉法人 福岡県共同募金会	〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ	092-584-3388
社会福祉法人 佐賀県共同募金会	〒840-0021 佐賀市鬼丸町7-18 県社会福祉会館	0952-23-4996
社会福祉法人 長崎県共同募金会	〒852-8104 長崎市茂里町3-24 県総合福祉センター	095-846-8682
社会福祉法人 熊本県共同募金会	〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7 県総合福祉センター	096-354-3993
社会福祉法人 大分県共同募金会	〒870-0907 大分市大津町2-1-41 県総合社会福祉会館	097-552-2371
社会福祉法人 宮崎県共同募金会	〒880-0007 宮崎市原町2-22 県福祉総合センター 人材研修館	0985-22-3878
社会福祉法人 鹿児島県共同募金会	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター	099-257-3750
社会福祉法人 沖縄県共同募金会	〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1 県総合福祉センター	098-882-4353
社会福祉法人 中央共同募金会	〒100-0013 千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル	03-3581-3846

# 2013-14 ANNUAL REPORT

Central Community Chest of Japan



## 社会福祉法人 中央共同募金会 平成25年度 年次報告書

発行 平成26 (2014) 年9月

社会福祉法人  
中央共同募金会

〒100-0013  
東京都千代田区霞が関3-3-2  
新霞が関ビル5階

TEL.03-3581-3846  
FAX.03-3581-5755  
メール info@c.akaihane.or.jp  
ホームページ www.akaihane.or.jp



赤い羽根のロゴマーク(左記)、  
または、本書の表紙に、  
スマホをかざせばご寄付いただけます。

- ①「かざして募金」アプリをインストール  
(QRコードからダウンロード)
- ②アプリを起動する。
- ③赤い羽根のロゴマークをかざして、  
画面をタッチ!
- ④募金画面から2タップですぐに募金  
ができます。



iOS アプリ



アンドロイドアプリ